

会 長	竹内 房男	所在地	鳥取市布勢 543-3
事務局長	山根 尚一	TEL/FAX	0857-28-1192 / 0857-28-1267
設立年月日	平成 21 年 5 月 14 日	Mail	cc-matsuho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,057 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/matuho-1
組織構成	総務・広報部、生活・安全部、福祉部、体育部、生涯学習部		

地域コミュニティ計画 『松保地区コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 21 年 12 月 8 日
- 支援宣言 平成 22 年 2 月 12 日
- 目 標 地域に誇りを持ち、皆が相互に支え合い活力ある安全・安心な地域づくりをめざす

◆ 地域の課題

松保地区においては、町内会長が 1 年で交代する町内会が大多数となり、地域の役員等の担い手不足も深刻化している。中長期的に自治活動に携わる地域リーダーの育成が喫緊の課題となっている。また、少子高齢化に伴い、地域の伝統芸能や文化の継承者不在も大きな課題である。さらには、地域住民の価値観の多様化やプライバシー意識の高まりから住民同士の人間関係が希薄化しており、特に災害時の共助が以前に比べ困難なものになってきている。

◆ 主な活動内容

事業①：地域の伝統芸能継承事業

現在松保地区では、7 集落で麒麟獅子舞が舞われているところだが、後継者不足からその存続が危ぶまれている。そこで、地域の伝統芸能である麒麟獅子舞を次世代に継承していくことを目的に、まず麒麟獅子舞を広く地域住民に知ってもらうべく、地区公民館の学習発表会の場において麒麟獅子舞を披露した。当日は、布勢集落の 20 歳代から 60 歳代の 6 名が猩々、頭、笛、太鼓などの役で本舞を披露した。参加者は、迫力ある舞を間近で見ると伝統芸能のすばらしさを再認識していた。

事業②：高齢化に伴う認知症対策事業

松保地区においても高齢化が進んでおり、地区内 65 歳以上の高齢者のうち 15%の方が認知症というデータが出ている。もはや認知症は他人事ではなく、自分自身や家族が認知症になる可能性もある。そこで、認知症を正しく理解することを目的に、鳥取市中央包括支援センターの保健師を講師に招き「認知症になっても安心して暮らし続けられる地域を目指して」という演題で講演会を開催した。認知症の原因や早期対応の大切さ、自分らしく生きるための認知症との共生のあり方等について理解を深めた。

事業③：災害対策備品の充実

近年、自然災害が多発しており、日ごろからの備えが重要になっている。毎年防災備品を充実させているが、昨年度は災害時に一番重要なトイレ関係の「簡易トイレ」「プライベートテント」をはじめ「災害多人数用救急箱」「ワイヤレスマイク」等を購入した。

◆ 今後の計画

防災や福祉、伝統文化の継承など地域課題の解決に向けて地域住民や各種団体と連携・協力しながら活動をしていく。また、アフターコロナを見据え地域住民の交流を深める「ふれあい運動会」や「パフォーマンス発表会」などの事業も再開していく。

- 総務・広報部：①まちづくり先進地視察研修（9月）②広報紙「かがやき」年2回発行（9月・3月）
- 生活・安全部：①松保地区防災訓練（10月）
- 福祉部：①福祉研修会（6月）②福祉施設視察研修（10月）
③男性料理教室（2月）④くつろぎカフェ（毎月2回程度）
- 体育部：①「ふれあい運動会」（9月）
- 生涯学習部：①地域の伝統芸能「麒麟獅子舞」披露（9月）②地域の宝を巡る（10月）
③人権講演会（11月）④パフォーマンス発表会（11月）